

事務事業名	国道54号三刀屋拡幅事業第3期促進事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉	所属G	国県事業グループ	課長名	森田 一
	施策名	〈08〉高速・広域交通網の整備	担当者名	佐藤 勝	電話番号	0854-40-1062 (内線) 3736
	目的	対 A) 高速道路利用者 B) 広域道路利用者 意図 市外主要都市と雲南市を安全で迅速に移動できるようにする。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 4 0 0 8 事業名 項 目 中事業 中事業 1 0 1 5 0 2 事業名	国道・県道整備事業 国道整備関連事業	
	基本事業名	〈021〉国道・県道の整備促進				
目的	対 国道・県道利用者 意図 安全・迅速に国道・県道を利用してもらう。					

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21 年度～ 27 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
国道54号三刀屋拡幅事業第3期の促進活動 斐伊川両岸の均衡ある発展のため、里熊大橋および里方交差点付近の4車線化の事業調整並びに取付け市道の整備を行なう。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動)	26年度計画(26年度に計画する主な活動)			
	地元調整 関係機関協議 用地買収・建物移転 建物解体工事	地元調整 関係機関協議 市道改良・舗装工事				
② 活動指標		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
ア	工事進捗率	%	0	10	30	70
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	・国道利用者	ア 国道利用台数	台/日	19,657	19,909	19,909	19,000
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	・安全・迅速に道路を利用してもらう。 ・渋滞の緩和、歩行者の安全性の向上	ア 市道改良延長	m	0.0	0.0	0.0	40.0
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
・用地買収費: 53,052千円 ・建物補償費: 84,414千円 ・測量設計費等: 14,506千円 ・工事請負費: 49,411千円	財源内訳	千円				34,900
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円		119,700	182,700	169,400
	その他	千円				
	一般財源	千円	6,195	9,505	18,683	10,543
	事業費計(A)	千円	6,195	129,205	201,383	214,843
	人件費	人	2	2	2	
	正規職員従事人数	時間	160	200	200	
	延べ業務時間	千円	631	784	779	
	人件費計(B)	千円	6,826	129,989	202,162	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
三刀屋拡幅事業第3期事業は、雲南市庁舎建設事業との調整が必要であり、地元調整・関係機関協議が重要課題となっている。	合併特例債を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。	交通渋滞緩和、周辺道路網の整備は、雲南市民の要望である。 また、下熊谷地区と里方地区の一体となった新市街地形成が望まれている。

事務事業名	国道54号三刀屋拡幅事業第3期促進事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 国土交通省及び島根県と連携して事業を推進する事業であり、向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 雲南市庁舎建設事業と密接な関係があるため、事務事業の廃止・休止は出来ない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 国土交通省の事業に関連する事業であり、類似事業はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 起債事業等の導入により、実質的な市負担の削減を図っている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 国土交通省及び島根県と連携して事業を推進しており、最小限の人員で対応している。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 事業の推進における恩恵は、雲南市全域の市民にある。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国土交通省及び島根県と事業分担を図り、事業費の縮小が図られるよう協議・調整を図っている。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
<p>今後も、国土交通省及び島根県との事業分担を図り、事業費の縮小が図られるような事業展開を図っていく。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																							